

科目ナンバリング：UTL-2-311-06

■授業の目的及び到達目標

本授業の目的は、生徒指導を教育活動全体を通じて組織的に推進することができるように、その意義や原理、進め方を理解することである。生徒指導の意義や原理、それを踏まえた学級・学年・学校における生徒指導の進め方、及び生徒指導上の主な課題と、校内外の連携も含めた組織的な対応の在り方を理解できることが到達目標となる。

■授業計画

- 1 生徒指導の意義と原理(1)
生徒指導の意義と課題とともに、教育課程における生徒指導の位置づけを理解する。
- 2 生徒指導の意義と原理(2)
生徒指導の前提となる発達観と指導観、集団指導・個別指導の方法原理を理解する。
- 3 生徒指導と教育課程
教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、部活動等における生徒指導の意義や重要性を理解する。
- 4 生徒指導と教育相談
生徒指導と教育相談に対する基礎的な考え方とその違いを理解する。
- 5 生徒指導の進め方(1)
青年期の発達の特徴と生徒指導における生徒理解の重要性を、事例を通して理解する。
- 6 生徒指導の進め方(2)
学校の指導方針、学校・学年・学級の教育計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解する。
- 7 生徒指導の進め方(3)
基本的な生活習慣を確立し、規範意識・倫理観を醸成する日常的な生徒指導の在り方を理解する。
- 8 生徒指導の進め方(4)
学級担任、教科担任等の立場で生徒の自己肯定感を育む生徒指導をどう進めるかを考える。
- 9 生徒指導に関する法制度
校則、懲戒、体罰等の生徒指導に関する主なきまりや法令等の内容を理解する。
- 10 個別の課題を抱える生徒への指導(1)
問題行動の早期発見と生徒への的確で効果的な指導の重要性を理解する。
- 11 個別の課題を抱える生徒への指導(2)
少年非行、暴力行為の定義を理解し、事例を通して生徒指導上の対応の視点を理解する。
- 12 個別の課題を抱える生徒への指導(3)
いじめ、不登校の定義を理解し、事例（高校の中退含む）を通して生徒指導上の対応の視点を理解する。
- 13 個別の課題を抱える生徒への指導(4)
インターネットや性に関する課題、児童虐待、自殺などへの生徒指導上の対応の視点を理解する。
- 14 家庭・地域・関係機関との連携
個別の課題を抱える生徒への指導に「チーム学校」としてどう対応するかを具体的に考える。
- 15 授業のまとめ
試験、及び試験後のフィードバックとしての解説を行い、これまでの学修の到達度を確認する。

■授業の方法

教科書の『生徒指導提要』を使った講義を中心とするが、生徒指導の進め方を具体的に理解するために、グループ討議などの演習も行っていく。

■予習・復習

予習：次回の授業内容に関する事前の情報収集（新聞記事など）を求める。

復習：授業内容をもとにした課題の提出を求める。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

試験 60%、課題やレポートの作成（予習・復習を含む）、演習を含む授業中の取組状況 40%で評価する。教員免許状取得を目的とする科目の性格から、積極的に授業に取り組んでほしい。

■教科書・参考書

教科書：文部科学省『生徒指導提要』（平成 22 年）

参考書：文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説総則編』、『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説総則編』

■関連する科目

教育原理、教職論、教育課程論、特別活動論、進路指導論などの教職課程科目が直接関連する。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

担当教員は、神奈川県立高等学校、東京都立高等学校にて通算 3 1 年間勤務し、生徒指導に関する研究実績を積んできており、それを本科目の指導に活かしていく。